

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

2025年6月10日

鹿児島県知事 殿

提出者

住 所 福岡市中央区天神二丁目13番7号

氏 名 戸田建設株式会社 九州支店

執行役員 支店長 重本 彰

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0927534113

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	戸田建設株式会社 九州支店
事業場の所在地	鹿児島県日置市東市来町神之川
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

## 当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	04 建設業
② 事業の規模	元請完成工事高 (令和6年度) 61,566.5百万円
③ 従業員数	256人 (令和6年3月31日現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添2 管理体制図のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	排出量	別紙のとおり t	— t
	(これまでに実施した取組) ・事前測定の厳密化による廃棄物発生量の抑制（木くず） ・現場内乾燥、脱水処理による減量化（汚泥） ・圧縮袋使用による軟性廃プラの減量化（廃プラスチック類） ・有価物での搬出（スクラップ・ダンボール）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	排出量	別紙のとおり t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・廃プラスチック類のさらなる分別・有価売却 ・余剰材の持ち帰り（木くず） ・作業所毎の産廃排出計画書を厳密に審査し、排出抑制につなげる ・土嚢袋の代わりにエコバックを使用する		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・木くず、コンクリート、アスファルトがらに関しては、建設リサイクル法基本方針に則り、分別を徹底している。 ・混合物のコンテナを除いて他に、少なくとも2つ以上は分別ボックスを設置している。（木くず、石膏ボード類）
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記に加え、今後さらに分別を徹底させる方策として、紙くず、金属くずの1m <sup>3</sup> ボックスを設置し、一斉清掃の時間で混廃ボックスの仕分け作業を実施する。（リサイクル運動）

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	— t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・特に予定していない。		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙のとおり t	— t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり t	— t
(今後実施する予定の取組) ・特に予定していない。			

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	— t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	— t
	（今後実施する予定の取組） ・特に予定していない。		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	全処理委託量	別紙のとおり t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり t	— t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙のとおり t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙のとおり t	— t
	（これまでに実施した取組） ・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面または電子による契約を実施している。 ・リサイクル率の高い処分業者を選定し契約をしている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t — t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t — t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t — t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t — t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t — t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者へ委託する。 ・電子Manifestの導入を進めているが、将来的に利用率100%を目指す。 ・定期的に委託先処理業者へ赴き、現地確認を行う。 ・電子契約普及率80%を目指しているが、将来定期には90%を目指す。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物 処理計画書 内訳書

令和7 年度分

事業場名

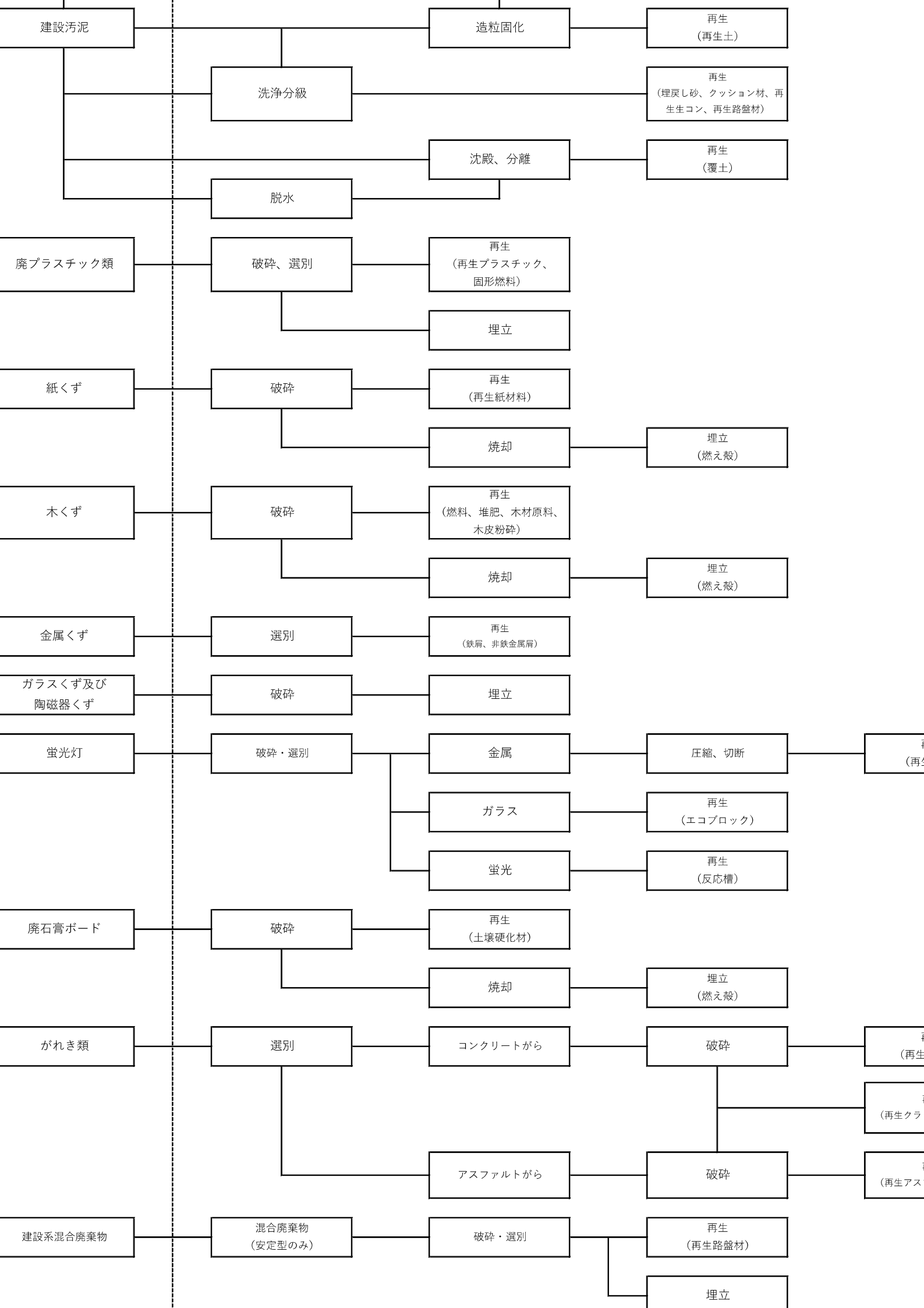
戸田建設株式会社 九州支店

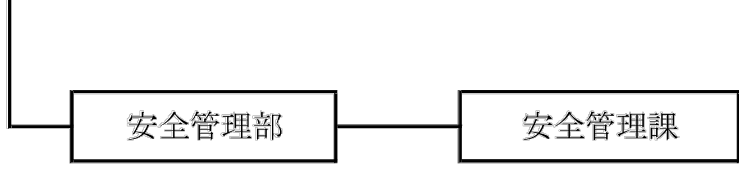
別紙

※取り扱う廃棄物の種類が1種類であっても、この表を作成してください。

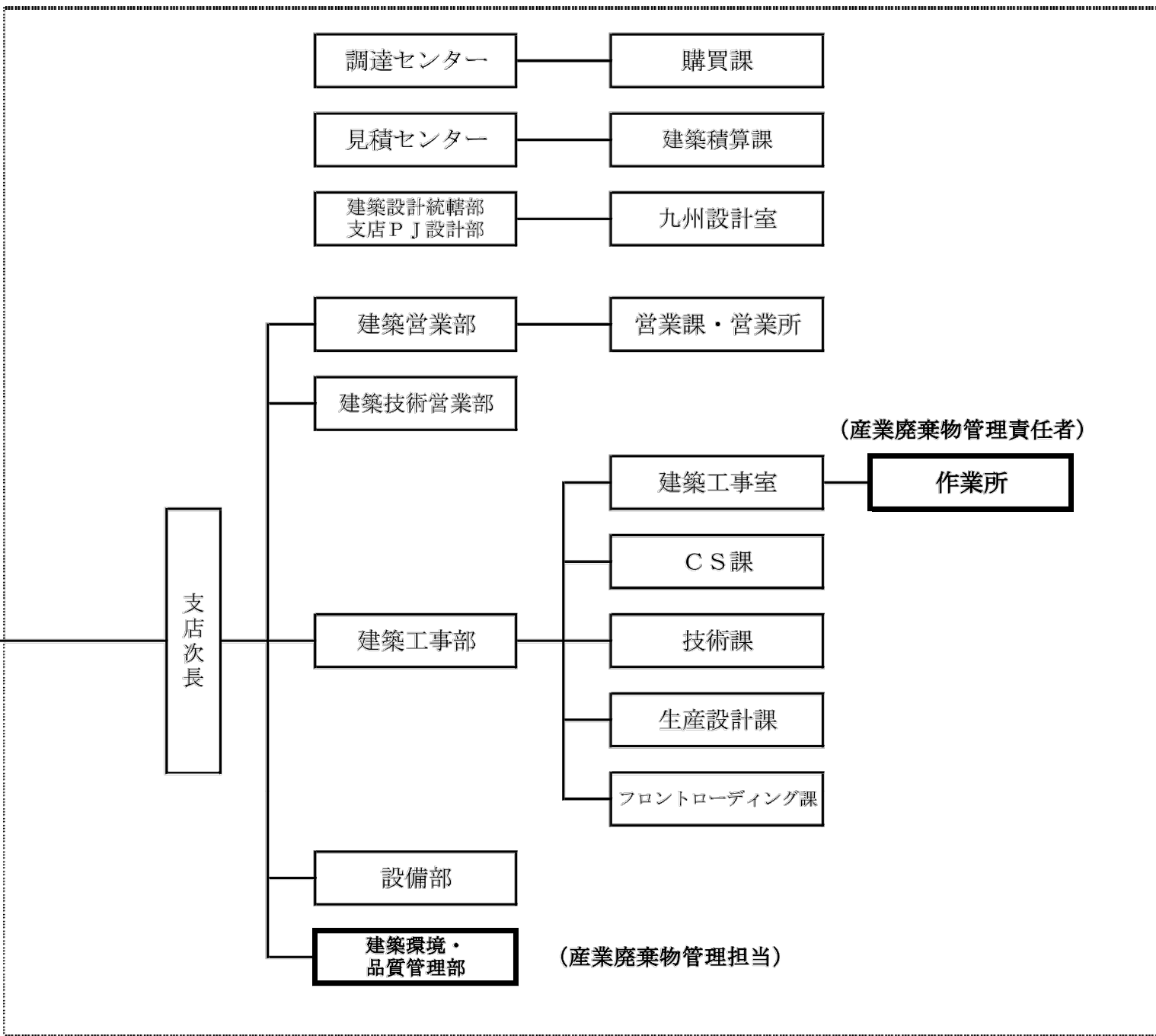
数字(t)

廃棄物の種類	廃棄物の排出の抑制に関する事項		自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				自ら行う産業廃棄物の埋立処分		産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
	①現状(前年度実績)	②計画(今年度計画)	①現状(前年度状況)	②計画(今年度計画)	①現状(前年度状況)		②計画(今年度計画)		①現状(前年度状況)	②計画(今年度計画)	①現状(前年度状況)				②計画(現年度計画)					
	排出量	排出量	自ら再生利用を行った量	自ら再生利用を行う量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量する量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量する量	自ら埋立処分を行った量	自ら埋立処分を行う量	全処理委託量	(左記内訳)優良認定処理業者へ処理を委託した量	(左記内訳)再生処理業者へ処理を委託した量	(左記内訳)認定熱回収業者へ処理を委託した量	(左記内訳)認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量	全処理委託量	(左記内訳)優良認定処理業者へ処理を委託する量	(左記内訳)再生利用業者へ処理を委託する量	(左記内訳)認定熱回収業者へ処理を委託する量	(左記内訳)認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量
1	燃え殻																			
2	汚泥	458.24	435.33								458.24	458.24	458.24	0.00	0.00	435.33	435.33	435.33	0.00	0.00
3	廃油																			
4	廃酸																			
5	廃アルカリ																			
6	廃プラスチック類	8.82	8.38								8.82	7.22	8.82	0.00	0.00	8.38	6.86	8.38	0.00	0.00
7	紙くず	1.65	1.57								1.65	0.30	1.65	0.00	0.00	1.57	0.29	1.57	0.00	0.00
8	木くず	466.30	442.99								466.30	1.30	466.30	0.00	0.00	442.99	1.24	442.99	0.00	0.00
9	繊維くず																			
10	動植物性残さ																			
11	動物系固定不要物																			
12	ゴムくず																			
13	金属くず																			
14	カーペット・コンクリートくず及び陶磁器くず	1.40	1.33								1.40	1.05	1.40	0.00	0.00	1.33	1.00	1.33	0.00	0.00
15	鋳さい																			
16	がれき類	293.12	278.46								293.12	40.48	293.12	0.00	0.00	278.46	38.46	278.46	0.00	0.00
17	動物のふん尿																			
18	動物の死体																			
19	ばいじん																			
20	その他																			
21	混合廃棄物	21.96	20.86								21.96	21.58	21.96	0.00	0.00	20.86	20.50	20.86	0.00	0.00
22	廃石綿(特管)																			
23	石綿含産業廃棄物																			
合計		1,251.49	1,188.92	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,251.49	530.17	1,251.49	0.00	0.00	1,188.92	503.68	1,188.92	0.00	0.00





〔建築部門〕



〔土木部門〕

